



石巻広域クラブ通信

THE Y'S MEN'S CLUB OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY, 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI Center
1-5-11, Tachimachi, Ishinomaki,
986-0824, Japan

〒986-0824 宮城県石巻市立町 1-5-11
YMCA 石巻センター
電話 022-271-6759 (清水)

2016年12月・第6号 E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: kochan-send.2@plum.plala.or.jp

== 2016-2017年度 主題 ==

クラブ会長 平井幸次郎「地域を見つめて、楽しく奉仕を」
北東部部長 長岡正彦（もりおか）「明日のために、いま土台を築こう」
東日本区理事 利根川恵子（川越）「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長 Tung Ming Hsian（台湾）「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長 Joan Wilson（カナダ）「私たちの未来は、今日より始まる」

<今月の聖句>

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそメシアである（ルカによる福音書2章11節）

<今月のテーマ> : EMC/MC

12月クリスマス例会プログラム

日時 12月9日（金）18:00~20:45
場所 レストラン「いち」

<第一部> 礼拝 司式 関川牧師
クリスマスメッセージ「真のクリスマス」

<第二部> 入会式 司式 平井会長
入会者 阿部かよ子さん 司会 関喜一郎

<第三部> 祝会 司会 日野 峻
黒田 敦

1. 開会点鐘 会長 平井孝次郎
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 司会
4. 会長あいさつ 平井会長
5. 食前感謝と乾杯 仙台YMCA総主事 村井伸夫
6. 会食・歓談
お楽しみゲーム、一緒に歌いましょう、
プレゼント交換など
7. 諸連絡 各担当
8. ハッピーアニバーサリー
9. 閉会あいさつと点鐘 平井会長

メリークリスマス!

石巻広域クラブ会長

平井 孝次郎



ルカによる福音書によれば、マリアが月満ちてベツレヘムの町で宿泊すべき宿屋がなく、馬小屋の飼い葉桶に初子を産み寝かせたとあります。一方野宿をしていた羊飼い達は天上に輝く天使の大群が現れ、「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に敵う人にあれ。」という御声を聴きました。そして今日ダビデの町であなた方のために救い主がお生まれになったと告げられました。この天と地の違いはクリスマスの真実の姿を伝えてあります。メリークリスマスとさわぎ立てる地上の人間の姿とはあまりに違いすぎます。たしかに神の独り子救い主の誕生は質的に神の御心であり、罪に汚れた人間の救いにとって大切な出来事でありました。主イエスの誕生は天的出来事でありましたが、地上には冷たい石で造られた飼い葉桶の中で産み落とされたのは、地上の王とも称されるべきお方の姿とあまりにも違いすぎます。

(次ページに続きます)



<今月のデータ>

【例会出席率】 在籍 22名 メーキャップ 0名 出席率 15/22 68%
11月例会出席者：メンバー15名、ゲスト2名、ビジター2名
【スマイル】 今月 12,989円、累計 39,809円
【ファンド】 今月 50,294円、累計 229,456円
【B F】 今月 0円、累計 0円

会長 平井孝次郎
副会長 日野 峻
書記 末永 博
会計 清水 弘一
担当主事 黒田 敦
ブリテン 関 喜一郎

(前ページより)

メリークリスマスと云うにはあまりにも憚りをおぼえます。しかしクリスマスの真の姿は神の御心でありました。罪で救われがたい死すべき人間を救わんとする神の愛がこのクリスマスに地上に示された悪の力に対する神の挑戦の始まりでありました。悪の力は地上で支配的でありましたが、主イエスの父なる神の人間に対する愛の実現が示され、主の十字架への道行で悪しき力に勝利されたのです。これによって我々は真実に、“メリークリスマス！”と云える様になったのです。主に感謝しアーメン。

11月第一例会報告

日時 2016年11月18日(金) 18:30~20:30

場所 YMC A石巻センター

出席者 平井孝次郎、日野峻、青木満里恵、阿部安子、石田信正、石川光晴、櫻井美智江、菊地信忠、西村富子、黒田敦、清水弘一、関喜一郎、関川祐一郎、千葉徳正、西村富子、大林健太郎(新入会員)

ゲスト 亀山貴一(Caféはまぐり堂代表理事)、川上直哉(東北ヘルプ) 菊地弘生(仙台青葉城)、涌澤博(仙台青葉城)

<例会要旨>

(1) 大林健太郎君入会式 (↓写真左より2番目)

開会点鐘、ワイズソング、ゲスト紹介、会長あいさつの後、チャーター後初の入会式はロウソクが灯されワイズソングが流れる中、平井会長の司式、菊地区会員増強事業主任の立ち合いのもとで行われ、出席者全員の大きな拍手で迎えられた。

なお、当初合同で予定していた阿部かよ子さんの入会式は、仕事の関係で12



月9日のクリスマス例会で行われる予定です。

(2) ゲストスピーチ(一般社団法人はまのねCaféはまぐり堂代表理事 亀山貴一さん)

食事・懇談の後、震災では想像を絶する被害を受けながら高校の教諭の職を辞し、地域興しの「蛤浜再生プロジェクト」を推進中の亀山代表をお招きした。

大津波で一家4人を亡くされ、ほぼ全滅した漁村、生まれ育った自然豊かな故郷を残したい一心



で津波を免れた古民家を再生し、地域再生プロジェクトをスタートさせて3年半、11名のスタッフ

とともに今では年間15,000人の交流人口にまでなった。まだまだ課題は多いが、コミュニティ再生のために魅力ある集落作り、多くの人々にできる参加型の交流事業を推進したい。しかし、自然災害は恨めないが、現在国で進められている防潮堤工事は何とかならないかとの言葉には、地元で頑張る人々の悲痛な声と響いた。最後に代表は、「新たな循環式社会を目指し、美しい風景を次世代へ」繋げたいと結ばれた。

(3) 諸報告と連絡

①12月クリスマス例会について

日時 2016年12月9日(金) 18時~

場所 石巻市千石町4-8 0225-25-7260
レストラン「いち」

会費 大人3,000円、小中学生1,000円

②第2回北東部評議会(11/26)への出席について

③第2回東西日本区交流会について

④荻浜地区津波石プロジェクトの報告

⑤YMC A報告(黒田担当理事)

・45回YMC Aクリスマス例会について(12/2)

・国際・地域協力街頭募金について

(4) ハッピーアニバーサリー(当月該当者なし)

(5) スマイル 12,989円

(6) 閉会点鐘 平井会長

12月役員会報告

日時 2016年11月27日(日) 13:30~15:00

場所 レストラン「いち」

出席者 平井孝次郎、日野峻、清水弘一
阿部かよ子(12月入会予定者)

<役員会要旨>

12月2日はYMC Aのクリスマス会と重なり、当クラブのクリスマス会が12月9日に開催されるので、その事前打ち合わせと会場下見を兼ねて行われた。

(1) クリスマス例会開催要領について

・第一部 礼拝(石巻山城町教会 関川牧師)

・第二部 入会式(阿部かよ子さん)

・第三部 祝会(プレゼント交換など)

(2) YMC Aストレッチヨガ教室開催の件

・日時 2016年12月7日(水) 10時~12時

- ・場 所 石巻新蛇田第一集会所
- ・講 師 金森千穂先生（仙台YMCA）
- ・主 催 公益財団法人仙台YMCA
石巻広域ワイズメンズクラブ

- (3) 12月号のクラブブリテンの発行について
- (4) 今後のスケジュールについて以下の通りとすることが確認された。

■今後のクラブスケジュール

★12月～2月クラブ行事予定

- 12月23日（祝）仙台YMCA街頭募金（仙台）
仙台青葉城クリスマス例会
- 12月24日（土）1月クラブ拡大役員会（17時～）
- 1月17日（土）4クラブ合同新年会（仙台）
- 2月01日（水）2月クラブ拡大役員会
- 2月04日（土）～5日（日）東西日本区交流会
- 2月17日（金）2月クラブ第一例会

< 東日本大震災支援関連記事 >

▼「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」上映会

東電福島第一原発事故発生から5年半、高い放射線量で全村避難が続き、除染作業が行われている福島飯館村は、自然が破壊され、日常生活が変わり、家族や人々の絆が断ち切られた。東日本大震災全体の風化が叫ばれる中、飯館村の人々は先の見えない状況に追い込まれている。この映画は古居みずえ監督の下で5年の歳月をかけて制作・完成しましたが、私たちはこの映画を通して飯館村のことをもっと知り、原発問題とこれからの復興活動に繋げるために自主上映会を開催した。公益財団法人仙台YMCAの主催で東北ヘルプとワイズメンズクラブが共催し、11月26日（土）仙台市市民活動サポートセンター・シアターホールにおいて一般公開で行われました。

当日は、参加者数は90名でしたが、一般の人も多く見え、ある大学生からは後日感想文が寄せられました。上映終了後は、古居監督のトークと福島で支援活動を続ける支援団体代表からの報告があった。

▼石巻市名振地区津波石の完成でミサワホーム社長を訪問

今年2月に完成した名振地区津波石の完成報告のために12月1日、スポンサーを引き受けていただいたミサワホーム（株）竹中社長を関係者で訪問した。当方からは名振地区会長・高橋氏、東京むかでクラブ城井ワイズ、石巻広域クラブから清水ワイズの3名が面談した。津波石プロジェクトへのお礼とともに被災地復興の現状報告を行い、今後の新規プロジェクトについて、引き続きの支援をお願いした。

第2回北東部評議会報告

日時 2016年11月26日（土）13時～16時
会場 仙台YMCA2階会議室203

▼議決権者数50名中、出席者21名、委任状19名で成立宣言がなされ、長岡北東部部長の挨拶で第2回評議会が始まった。石巻広域クラブからは、平井会長、日野副会長、清水会計の3名が出席した。東日本区第2回役員会報告の後、各クラブ会長の活動状況の報告があり、平井会長からは、毎月行われた①第一例会・拡大役員会の状況報告、②東日本大震災支援活動の報告、③今後の課題としては出席率の向上、例会日の再検討、長期欠席者への対応、クラブCS事業（コミュニティー・サービス）の検討やクラブファンド事業の確立化が急務であることが報告された。



▼協議案件は、前回からの継続審議を含め、6件の下記議案が審議された。

(1) 第1号議案 2016～2017年度北東部予算承認の件・・・原案通り承認

(2) 第2号議案 第20回北東部部会決算承認の件・・・原案通り承認

(3) 第3号議案 次々期北東部部長専任の件・・・次期部長に宇都宮東クラブ鈴木会長を承認、次々期は仙台青葉城クラブの涌澤博ワイズを候補者として内々定とした。

(4) 北東部バナー作製の件・・・前回からの継続審議であるが、作成することを前提に、3案のどの案にするかは、デザイン者の意見を参考に次回評議会で決定することで継続審議となる。

(5) 部運営体制・部長選任方法について（継続審議）・・・活発な意見が出された。原案では運営上の手続きでデメリットが多い、部の活性化のためにも部の再編成、分割で協議すべきであるなどの意見が出て、継続審議となった。

(6) 2016～2017部主催ユース育成事業企画について・・・ユースリーダー・アクト開催の主催責任者は誰になるかとの質問が出され、提案者の意図を再確認することで継続審議となった。

▼その他、現在進行中の東日本区定款改訂内容とその意義についての説明が清水委員よりあった。



東日本区第20代理事

利根川恵子 (川越クラブ)

あいさつ・・・時の流れは人を待たず、早、師走となりました。今年度も折り返し点に差し掛かろうとしております。年度当初の目標の達成状況がそろそろ気になり始める頃ですが、各クラブではいかがでしょうか。今月は E (Extension-クラブ拡張)、M (Membership-会員増強)、C (Conservation-維持啓発) のうちの MC 強調月間です。M に関しては各クラブ2名の会員増加で区の会員数を 1,000 名以上に、C は退会者ゼロを目指す、が区の目標です。区の会員数は現在 930 人代で、まだまだ目標には届きません。引き続き、一人が一人を勧誘する覚悟で増強に努めていただきたいと思います。と同時に C の会員の維持啓発 (用語集では意識の高揚と表現) も忘れてはなりません。例会を欠席がちのメンバーはいませんか。欠席の理由は様々でしょうが、例会が楽しく、充実していることが、クラブの原点であり、会員維持の要です。12月には多くのクラブでクリスマス例会を開催されるでしょう。いつにもまして、豊かな交わりのある時期でもあります。どうかクラブで例会の在り方を見直したり、今までやりたくともできなかった例会の内容を考えたり、会員の維持への意識の啓発を例会の充実を通して図ってください。みなさまが健康に恵まれ、楽しく、豊かなクリスマスを迎えられるようお祈りしております。

★国際役員等の選挙への投票をお願いいたします。

2017年1月31日 (スイス・国際本部必着)

★東日本区定款改訂の動き・・・①全クラブで改定案の検討を！ ②前文を募集します。

★東日本区20周年記念誌の編集が動きだしました。

第2回東西日本区交流会のご案内

1997年7月に日本区が東西に分かれてから20年の節目の年に12年振りに東西ワイズが一堂に会して交流会が開催されます。

(登録期限は本年12月31日迄です)

1. 開催日程

2017年2月4日 (土) 14時～5日正午

2. 会場

日本YMCA同盟国際青少年センター (東山荘)

3. 大会キャッチフレーズ

「語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！」

担当主事 黒田敦

▼第45回仙台YMCAクリスマス報告

12月2日(金)に、仙台市民会館展示室にて「第45回仙台YMCAクリスマス」が行われました。およそ380名の参加があり、うち留学生が79名でした。参加者だけではなく、ボランティアとして関わっていただいた方も多くいました。ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。

▼国際・地域協力募金について

YMCAでは、毎年国際・地域協力募金を11月から12月にかけて行い、国際協力・被災地支援活動等、子ども及び青少年健全育成のために使わせていただいております。先日、11月27日(日)に実施した街頭募金では、下記の4箇所で合計42,328円をいただきました。当日は小雨の中、52名の協力者で短縮して実施しました。あと1回街頭募金を実施致します。ぜひ、ご参加をお願いします。

①12月23日(火・祝) 14:00～16:00

*街頭募金の活動場所は、仙台市青葉区の ①三越付近 ②フォーラス付近 ③グッチ前 ④藤崎付近です。尚、国際地域協力募金の一環として、健康教育事業部で和歌山県南高梅干を販売しております。160gで300円。①はちみつ入り(塩分8%) ②しそ漬(塩分8%) ③塩分15%の3種類があります。

メンバー各位

2017年新年号ブリテン原稿の提出のお願い

- あなたの2017年の**抱負**や**夢**を「漢字一文字」で表現してください。
- 説明文は、50字以内でお願いします。
- 原稿提出期限 2017年1月7日(土)
- 提出先：清水 (メール又はFAX)

メール：kochan-send.2@plum.plala.or.jp

FAX : 022-271-6763

<編集後記>

東日本大震災発生から5年9ヶ月が過ぎました。被災地の復興はまだ途上ですが、2020年の東京オリンピック一色の声に負けまいと被災地の人々は懸命に知恵を出し合っています。

未だ行方不明者が2500余名という現実、福島原発事故の終息までこれから40年という歳月と莫大な費用、私達一人ひとりがどのように関わって行くべきかを改めて考える一年でした。(弘)